



- 1.報道日時 令和3年10月27日(水)
- 2.報道機関 北海道新聞 地方版(渡島・桧山地方)
- 3.開催場所 北海道北斗市 上磯高等学校
- 4.活動内容 地理授業に防災を当てはめて知識を高める。
- 5.指導者等 伊藤教諭(防災士)の指導者で「マイ・タイムライン」への体験取り組み。

防災は「心の備え」から

※学校周辺の「防災マップ」による各自の判断による対応を学習体験した。



その数日後、11/2夕方、この地域に気象庁は「記録的短時間大雨」情報発表

特別警報「避難情報 4」発令

上磯高校の生徒は、学習した事を実際に体験し、マイ・タイムラインの必要性を感じていたようでした。(先生の話)

2021年(令和3年)10月27日(水曜日) 10

災害への備え学びの場から

地域の避難場所などを確認し、マイ・タイムラインを作成した上磯高の生徒たち

浸水想定 行動計画を作成 上磯高

【北斗】上磯高は21日、災害時の行動をあらかじめ計画しておく「マイ・タイムライン」を作成する防災授業を同校で行った。生徒たちは、学校周辺の浸水区域や避難所について学び、防災意識を高めた。

理科の授業で初めて実施した。この日は3年生約20人が、同校のある中野通3を拠点にタイムラインを作成。大雨による浸水を想定し、情報を得る手段や「いつどこに避難するか」を考え、警戒レベル別の避難計画をA4判の表にまとめた。

グループごとの発表では、上磯中や市総合文化センターといった具体的な避難所を挙げ、緊急時の家族の連絡先や、避難に必要な持ち物も確認した。

三浦優真さん(18)は「自分の地域の避難所を確認できた。防災グッズをそろえ、災害が起きたために役にたい」。防災士の資格をもつ理科の伊藤友彦教諭は「市内でも過去に大きな水害が発生した。水害は地震と違って予想できるので、逃げ遅れないよう備えてほしい」と話した。(加藤遥花)